

令和7年度  
第2回 家庭教育支援連絡会 会議録

1 日時

令和8年3月26日（木）午前10時～11時

2 場所

市役所議会棟4階 第I・II会議室

3 出席委員

権永委員長、東田副委員長、茂上委員、九條委員、山口委員  
岩本委員、木場委員、川原委員

4 欠席委員

田中委員、白石委員、島津委員、石村委員

5 事務局

岡元課長、宮崎係長、川上

5 会議次第

(1) 開会

・あいさつ

(2) 案件

- ① 家庭教育学級について
- ② 寝屋川市家庭教育サポートチームについて
- ③ ねやがわ子どもフォーラムについて
- ④ その他・情報交換

## 会議録

### 1 開会

社会教育推進課宮崎係長より欠席委員の連絡の後、権永委員長の進行により会議が開催された。

### 2 案件

#### (1) 家庭教育学級について

家庭教育講座

全 22 小学校で開催した。

講座の内容は、インターネット関係の「家庭での情報モラル」が人気であったが、「児童心理」の内容で開催した学校もあった。

#### (2) 家庭教育支援者スキルアップ講習会

市内の家庭教育支援者、また、これから家庭教育支援者として活動する方を対象に、スキルアップを目的として令和 8 年 1 月 16 日、21 日、31 日の 3 日間 6 講座を実施。講習会受講者の中から、次年度の「家庭教育サポーター」の希望者を募り、ご応募いただいた中より 23 名の家庭教育サポーターが決定した。

### 3 寝屋川市家庭教育サポートチームについて

全 23 小学校に各 1 名、エリア担当として 1 名を任命し、新サポーターの配置校等を巡回していただいているが、今年度のサポーターは 21 名で、人数が足りない為、2 校を受け持つサポーターが 2 名おられた。地域や関係機関と連携しながら、保護者の良き相談相手になり、家庭の健全化を図り、子どもの生活改善につながるよう活動。

活動実績として、令和 7 年 2 月末現在で、電話相談 2,054 回、学校面談 1,727 回、家庭訪問 1,879 回、児童対応 7,077 回となる。

### 4 ねやがわ子どもフォーラムについて

開催日：令和 8 年 2 月 14 日（土）

講師：日本非認知能力協会 会長 中山 芳一 氏

「非認知能力が育む子どもの未来～大人たちにできること～」というタイ

トルでお話いただいた。

アンケートの回答には、「子どもとの関わり方、納得することが沢山あった。」「子育て時代に聞きたかったけど、孫育てに役立てます。」「非認知能力について何も知らずに来ました。少し難しい内容だと感じましたが、今の時代にとっても貴重な考えで、子ども達への言葉かけ、接し方、参考になりました。」等の声があった。

## 5 その他・情報交換

### 【事務局】講演会などの参加者について

近年、参加者動員をかけない方向なので、参加者の増員が見込めない。  
参加者数を増やすためのアイデアを提案いただきたい。

#### ○委員からの意見

・子どもフォーラムは、2月の第2土曜日で固定されているが、他の行事と重なる等で、一層に参加者が減っている。動員は難しいのかもしれないが、講演を聞いてみれば、子育て中の方に響く内容になっているので、是非、参加してもらいたいと思う。

・土曜日に、子どもを預けて講演会に参加するのは難しい。一時保育はあっても、子どもと一緒に参加できれば良いかもしれない。

### 【保育所】

卒園児の保護者で、新たに小学校に上がる事に不安を抱えておられる。保育所で先生に相談できたことが、できなくなる不安。下のお子さんが一歳に満たないお子さんなので、下の子を連れて相談に来られても良いと伝えている。

### 【こどもを守る課】

こどもを守る課では、心理士がいるので、育児の相談や子どもが学校に行きたがらない等の悩みごとに対応している。

年々件数として増えてきているように感じている。例えば1ヶ月に1回は来た方が良い様なケースも、1ヶ月に1回予約が取れない事が多く、1ヶ月半に1回になってしまってる。保育所等で相談ができると、身近なところが一番いいの

だろうなと思う。

保護者にしたら、ちょっと話を聞いてもらいたい方もたくさんいらっしゃる  
ので、気軽にどこでも相談できる雰囲気が寝屋川市としてつくれたらいいなと  
思っている。

#### 【市立校園PTA協議会】

今年度も、子ども向け行事のドッチボール大会、大人の親睦向けのバレーボ  
ール大会、市P大会の3つをメインに一年間活動してきた。

寝屋川まつりに出店し、ポケモンカードのくじ引きが大人気で大好評だった。

年々、活動が負担だとしてPTAを抜ける人が増えているが、大人が楽しんで、  
子ども達の為の何かをする事は、とても大事な事だと思っている。

子ども達に対して、先生の言えること、保護者が言えること、地域の大人が  
言えることが、PTA活動を通じて、保護者たちにもっと熱く伝える機会があ  
れば良いし、まずは子どもの笑顔が増える機会があれば良いなと思う

#### 【家庭教育サポーター】

・小学6年生の児童で、教室に入れないう子が卒業式に参加でき、卒業式の決意  
表明を大きな声でいう事ができた。帰りも友人と帰ることができたし、中学校  
では、頑張っって欲しいと思う。

・配置校の学校で周年行事があり、こども達は縦割りでグループを作り、難問  
を解いていくラリーが行われた。普段と違う子どもたちの様子が、とても新鮮  
に感じられた。

・インフルエンザが流行り、兄妹揃って熱で休んでいる家庭があったが、なか  
なか病院を受診されないため理由を確認したところ、いつも行く病院が閉院に  
なったから受診していないと言う。寝屋川市は医療の補助制度があるのに、病  
院が閉まって途方に暮れている家庭があった。

・ひとり親家庭で、保護者が早くに仕事に行くため、子どもを祖母に預けてい  
る家庭があり、祖母の困り感にも対応することがあった。

・今後も、サポートを受けている方が、小さな事でもヘルプの声を出せるよう  
な関りを続けたいと思う。